

今後のペットボトル分別収集体制の見直しについて

令和7年5月29日
環境部 総合環境課

1. 前回までのご意見

【ペットボトルとプラスチック製容器包装の分別収集に関すること】

- ペットボトルだけを別の日に集積所に排出できるとよい。
- ペットボトルも指定袋を変えずに、プラスチック製容器包装と別に排出することを明確にするとよいのではないか。
- 資源の日にペットボトルだけが排出できると市民にわかりやすくなる。
- ペットボトルだけの収集日であれば、ラベルを剥がすことは定着していくと思う。

【その他の検討事項】

- ペットボトル用の指定袋を買うとなると、その分コストがかかる。(市民の経済的負担)
- ペットボトルを資源物として抽出することを整理したうえで、製品プラスチックの再資源化の検討を進めるべき。

2. これまでの経緯を踏まえたプラスチックごみ収集体制

(1) 今後のプラスチックごみ収集体制について

- ① ペットボトルとプラスチック製容器包装とは分別収集すべき
- ② ペットボトル用の指定袋を必要としない方法の検討
- ③ ペットボトル収集体制を整理したうえで、製品プラスチックの再資源化に向けた体制づくりの検討

(2) 収集体制(案)について ※詳細については資料2「ペットボトル分別収集体制(案)」を参照

- ① 収集日の設定
- ② 収集方法について
- ③ 収集体制を整備するための要件
- ④ 収集体制(案)のメリット・デメリット

3. 収集体制(案)を検討するうえで整理すべき事項

(1) 受け入れ体制の確保

既存中間処理施設のみで対応可能か(改修工事・他の事業者の検討)

(2) 収集方法の検討

ネット収集、ビニール袋収集等(「指定袋」か「市販の透明または半透明の袋等」)

(3) 収集体制の整備

① 車両や人員の確保 ② 集積所の案内(ガイドブック・看板) ③ その他市民への周知方法

市民に浸透しやすいペットボトル収集体制の確立へ

4. 実施スケジュール案

